

育成

モノづくり人材
Vol. 84

福岡県立 福岡工業高校

1896年(明29) 万人を超える。「特化型創立の福岡県立福岡工業高校。工業高校として九州で最も長い歴史を持ち、卒業生は約3



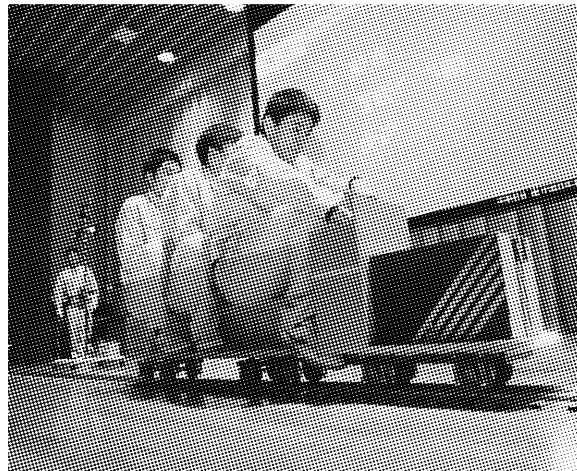
平野校長

工業高校」を掲げ、8学科1コースの幅広い構成でスペシャリストの養成に力を入れる。また「チーム福工」としての絆を意識し、教職員と生徒が一体となる会にも積極的に参加す

地域との結びつきを意識

った学校づくりを展開している。同校で技術力を磨く力ギとなるのは地域とのつながり。課題研究での成果を基に各学科が発表する「研究発表会」の評価には学外の

【DATA】▷校長=平野孝幸氏
▷所在地=福岡市早良区▷学科構成=(全日制)染織デザイン科、建築科、機械工学科、情報工学科、環境化学科、電気工学科、都市工学科、電子工学科、工業進学コース、(定時制)工業技術科▷生徒数=1070人(全日制)、80人(定時制)▷主要設備=マシンングセンター、3Dプリンター、レーザー加工機、ガスクロマトグラフなど▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、アサヒビール、九州電力、西部ガス、西日本鉄道、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学など



「研究発表会」で成果を披露する生徒

る。福岡県建築士事務所協会が主催するコンテストは10年連続で最優秀賞を受賞するなど、学校の取り組みが盛ん。中で

分の現在の立ち位置や漠然とした強みや弱みの把握につなげている。また独自の5Sとして「セイフティ、信頼、作法、省エネ、スマイル」を推進する。「率先して手を挙げる人材になるために必要なもの」(同)であるのと同時に、生徒は次世代に必要な資質を意識しながら日々の学校生活を過ごす。

「燃える福工、目指せ日本一」というスロガンを掲げる同校。積極果敢な言葉と同様に平野校長は「何事にも日本一を目指した」と力強く語る。(西部・高田圭介)(金曜日に掲載)